

プレイバックシアターの応用 保健福祉分野

吉川ひろみ 県立広島大学保健福祉学部作業療法士，劇団しましま

- 30人クラス，**ワークショップ**形式

導入————→ゲーム・演じる練習————→ストーリー（ミニ公演）



学部教育

- 作業療法学概論
- 作業療法倫理学
- **臨床実習セミナー**

大学院教育

- 医療福祉倫理学特論
- 多職種連携マネジメント特論

専門職研修

- セラピスト研修
- 病院職員研修

ヘルスケア専門職教育：行動の振り返り

省察的実践が専門職成長に必要
Reflective practitioner



臨床経験

テラーとして

- 語る
- 劇を見る
- コメントする

振り返り

アクターとして

- 聞く，演じる，コメントを聞く
- **ストーリーの記憶**

ヘルスケア専門職教育：共感

テラーが語る
ストーリー

共感

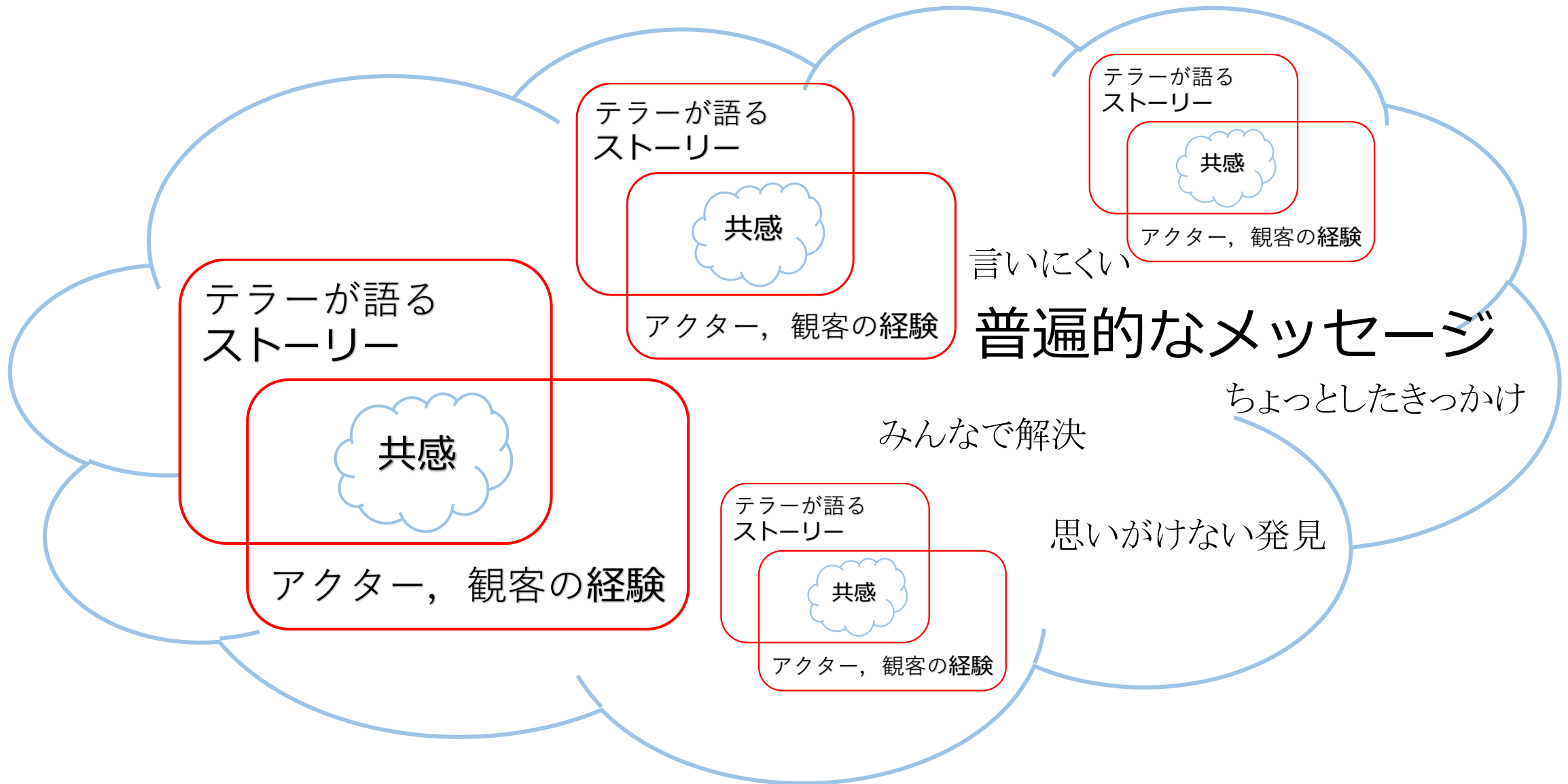
アクター，観客の経験



普遍的なメッセージ

ちょっとしたきっかけ

ヘルスケア専門職教育：共感



ヘルスケア専門職教育：協働

ワークショップ

- ゲーム・演じる練習

他者と自分の
違いを知り協力
集団の変化を
感じる

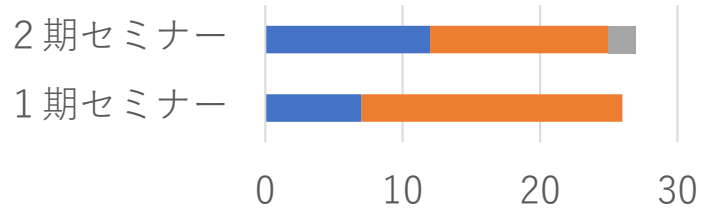
ミニ公演

- 雰囲気作り（表情，言葉，行動）
- パフォーマーと観客
- コンダクターとテラー
- アクター同士
- アクターとミュージシャン
- パフォーマー同士

多様なつながり

実習セミナー後の学生の反応（1期6月，2期8月）

参加の積極性

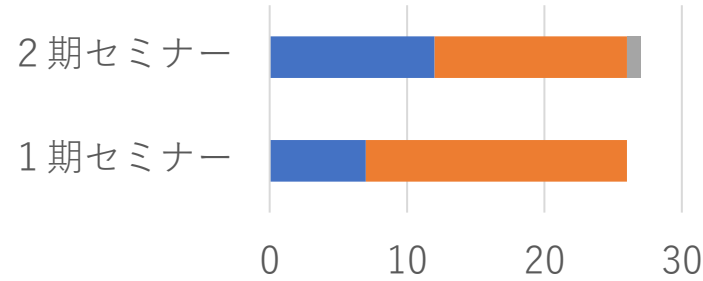


■ とても積極的に参加した

■ まあまあ積極的

■ あまり積極的ではなかった

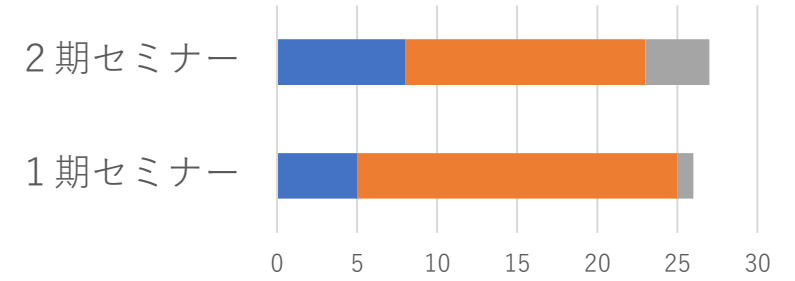
満足度



■ とても満足 ■ まあまあ

■ あまり満足でない ■ 不満

プレイバックシアターの実施



■ とても賛成 ■ まあまあ

■ あまり賛成できない ■ 反対

- 楽しかった
- 協力し合えた
- 共有できた
- 振り返りができた
- がんばろうと思えた

- 苦手
- 恥ずかしい
- プレッシャーが大きい

- 相手の気持ちを読み取る・自分の気持ちを伝えるのに必要なものが身についたと感じる
- 出来事を物語として捉えることや他の人の気持ちを理解しようとする姿勢、自分の経験を表現する方法を学んだ

プレイバックシアター実践の障壁

- 人数が必要
- 場所が必要
- スキルが必要：ファシリテーター，アクター，ミュージシャン
- 個人主義
- 権威主義
- 不平等を助長する雰囲気
- オープンな心の欠如，見栄，体裁，恥ずかしさ，人見知り，不安，自信のなさ，自意識過剰，唐突な反応，心無い言葉，

プレイバックシアター実践の障壁への対策

- 人数が必要
- 場所が必要
- スキルが必要：ファシリテーター，アクター，ミュージシャン

調整と努力で
解決可能



- 個人主義
- 権威主義
- 不平等を助長する雰囲気

- オープンな心の欠如，見栄，体裁，恥ずかしさ，人見知り，不安，自信のなさ，自意識過剰，唐突な反応，心無い言葉

プレイバックシアター
だけではダメ

プレイバックシアター実践の障壁への対策

- 人数が必要
- 場所が必要
- スキルが必要：ファシリテーター，アクター，ミュージシャン

調整と努力で
解決可能



- 個人主義
- 権威主義
- 不平等を助長する雰囲気
- オープンな心の欠如，見栄，体裁，恥ずかしさ，人見知り，不安，自信のなさ，自意識過剰，唐突な反応，心無い言葉

インクルーシブ，相互依存
の集団を増やす

多様性の理解

表現，芸術